

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 女性総合診療部・岩瀬 純

【研究責任者】

聖路加国際病院 女性総合診療部 岩瀬 純

タモキシフェン®内服歴のある方を対象とした

子宮に対する影響に関する研究

1.研究の対象

2009年9月～2018年9月にタモキシフェン®を内服し、当院女性総合診療部に受診歴がある方

2.研究の目的・方法

(目的)

タモキシフェンクエン酸塩（以下、タモキシフェン）は乳癌の術後治療に使用されています。タモキシフェン投与は乳癌の発生率を有意に抑制しますが、一方で子宮体癌の危険率が増加することがわかっています。さらに、タモキシフェン投与により子宮内膜ポリープ、子宮内膜増殖症などの子宮内膜疾患ならびに卵巣疾患（卵巣嚢腫 等）が増加することも報告されています。当院患者におけるタモキシフェン内服による子宮および卵巣に対しての影響（頻度・疾患名など）を明らかにすることです。

(方法)

2009年9月から2018年9月までに乳癌と診断され、タモキシフェン内服している当院女性総合診療部に受診歴のある患者さんについてカルテを用い観察研究を行います。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2019年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、タモキシフェンの内服歴、カルテ番号、子宮内膜細胞診もしくは組織診結果、超音波検査結果 等

4.研究組織

聖路加国際病院 女性総合診療部 岩瀬 純